

# 守山企業景況調査報告書

(第 58 回)

令和 6 年 1 月～令和 6 年 3 月期 実 績

令和 6 年 4 月～令和 6 年 6 月期 見通し

# 守山企業景況調査について

(令和6年1月～令和6年3月期)

## 1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 67 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

## 2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	17	11	64.7%
製造業	13	9	69.2%
建設業	12	5	41.7%
サービス業	17	8	47.1%
卸売業	5	3	60.0%
合計	64	36	56.3%

## 3. 調査期間

調査期間は、実績を令和6年1月～令和6年3月、見通しを令和6年4月～令和6年6月とし、調査時点は令和6年4月30日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指標としてDI指数を採用した。DI指数とはDIffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算（経常利益）」、「従業員」のDI指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」のDI指数は3カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算（経常利益）の水準」のDI指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

## 調査の概要

令和6年1月～令和6年3月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果はDI指数（景気動向指数）を用いて示している。

DIは、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DIが±0の状態であれば、「増加」「好転」等の企業割合と「減少」「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆にDIがマイナスの数値であれば、「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

令和6年1月～3月期の調査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの全ての指標の数値が低下した。

### <業況>

業況DIは▲25.0で前回調査の▲6.1から18.9ポイント低下した。業種別では、小売業▲36.4（前回調査比+17.4）、製造業▲11.1（前回調査比▲11.1）、建設業▲60.0（前回調査比▲70.0）、サービス業▲12.5（前回調査比▲33.9）、卸売業0.0（前回調査比±0.0）と小売業は上昇し、製造業、建設業、サービス業が低下した。4月～6月期見通しは全体で▲17.6である。

### <売上高>

売上高DIは▲17.1で前回調査の10.0から27.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲40.0（前回調査比▲9.2）、製造業▲11.1（前回調査比▲33.3）、建設業▲40.0（前回調査比▲50.0）、サービス業12.5（前回調査比▲16.1）、卸売業0.0（前回調査比▲50.0）であり、全ての業種で低下した。

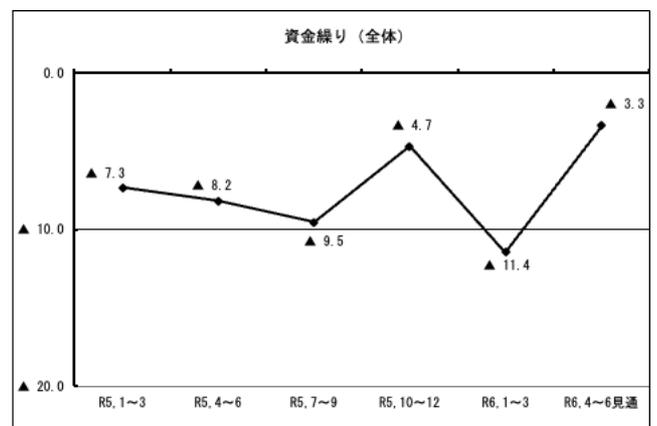
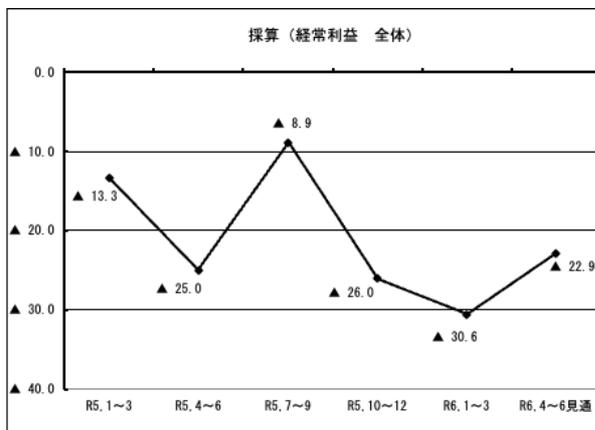
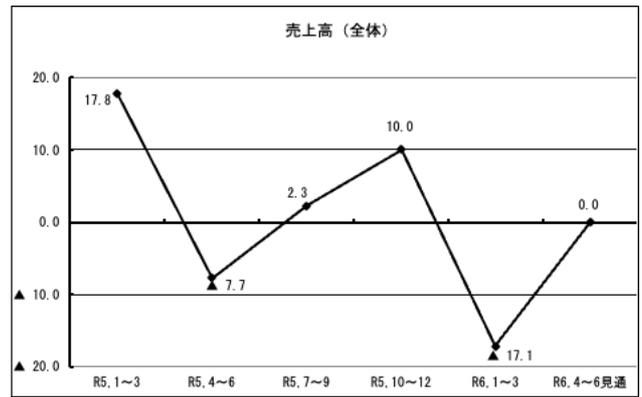
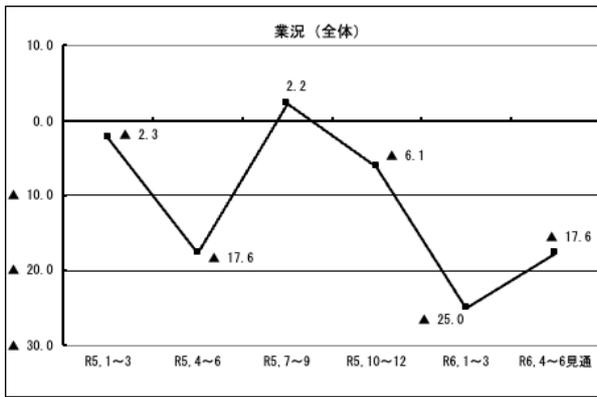
4月～6月期見通しは全体で0.0である。

### <採算（経常利益）>

採算（経常利益）DIは▲30.6で前回調査の▲26.0から4.6ポイント低下した。業種別では、小売業▲27.3（前回調査比+26.5）、製造業▲55.6（前回調査比▲11.2）、建設業▲60.0（前回調査比▲40.0）、サービス業0.0（前回調査比±0.0）、卸売業0.0（前回調査比±0.0）で小売業が上昇、製造業、建設業は低下となった。4月～6月期見通しは全体で▲22.9である。

### <資金繰り>

資金繰りDIは▲11.4で前回調査の▲4.7から6.7ポイント低下した。業種別では小売業▲36.4（前回調査比▲19.7）、製造業12.5（前回調査比+12.5）、建設業▲40.0（前回調査比▲27.5）、サービス業0.0（前回調査比±0.0）、卸売業33.3（前回調査比±0.0）で製造業は上昇し、小売業、建設業は低下した。4月～6月期見通しは全体で▲3.3である。



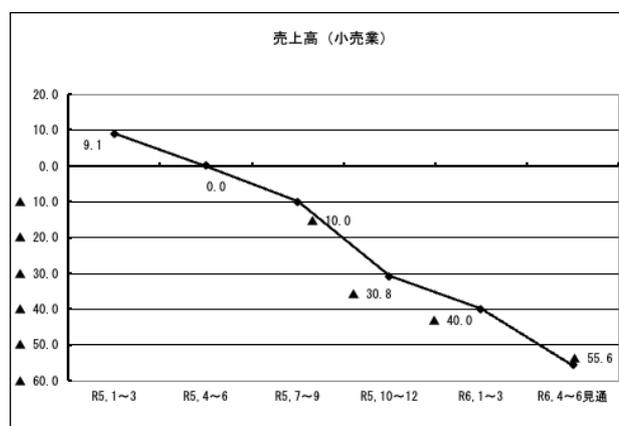
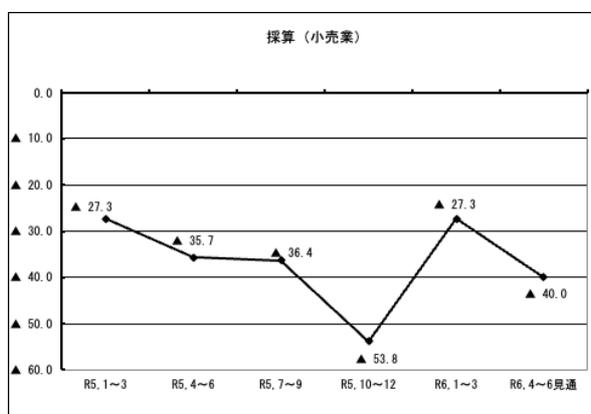
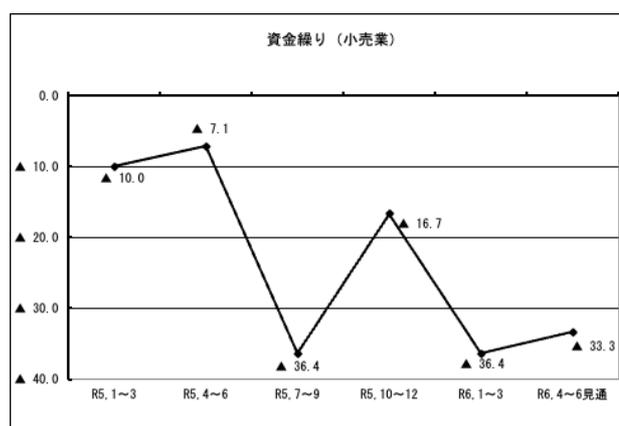
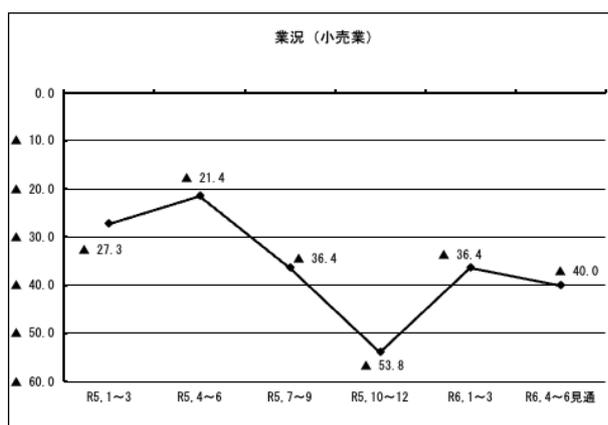
## 小売業

小売業の業況DIは▲36.4で前回調査に比べて17.4ポイント上昇した。前回調査まで2四半期連続でマイナスであったが今回調査では数値が上昇した。前回調査で低下した分を戻した格好になっている。令和6年4月～6月期見通しは▲40.0で低下の予想になっており、上昇気流に乗ると言う感じではなさそうである。

売上高DIは▲40.0で前回調査に比べて9.2ポイントの低下であった。これで4四半期連続で低下した。過去1年かけてじわりじわりと下げてきたが、▲40まで落ち込んだ。令和5年1月～3月期と比較すると、49.1ポイントの低下なので小売業の売上はかなり冷えていると考えられる。4月～6月期見通しはさらに悪く▲55.6で売上好転の兆しも見えていない。

採算DIは▲27.3で前回調査より26.5ポイント上昇した。令和5年1月～3月期から4四半期連続での低下の後ようやく上昇した。これで令和5年1月～3月期と同じ値に戻した。令和6年4月～6月期見通しはさらに低く▲40.0であり採算の見通しは暗いと言える。

資金繰りDIは▲36.4で前回調査より19.7ポイント低下した。前回調査で上昇した分だけ今回は低下したことになる。令和5年1月～3月期が▲10.0であることを考えると、小売業の資金繰りはこの1年間で厳しさが増していると言える。4月～6月期見通しは▲33.3で厳しい予想が続いている。



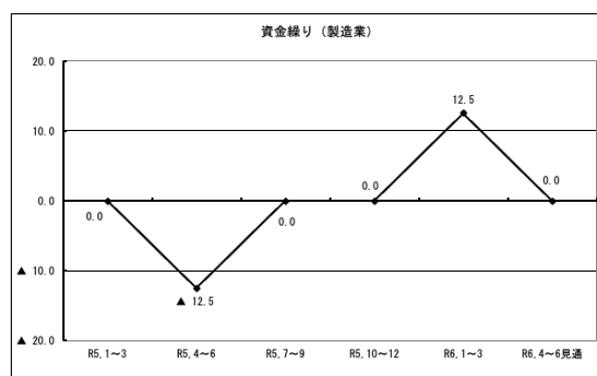
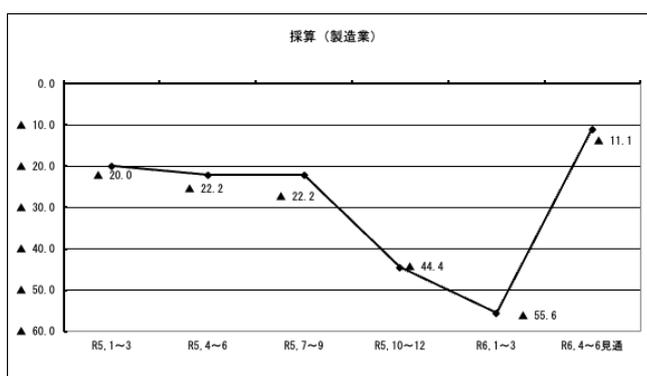
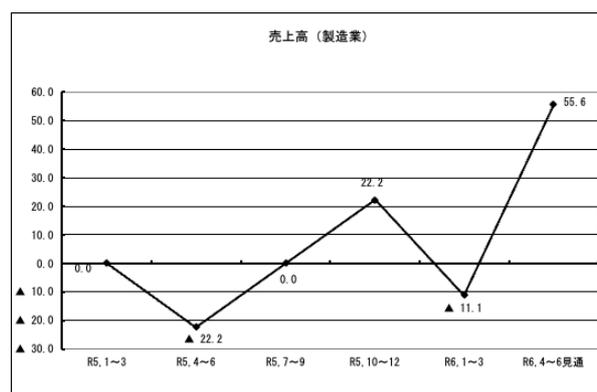
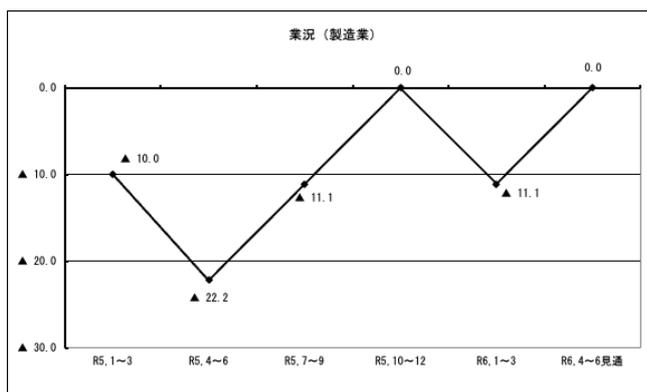
## 製造業

製造業の業況DIは▲11.1と前回調査の0.0から11.1ポイント低下した。前回調査まで2四半期連続の上昇であったが、今回は低下する結果となった。とは言え、過去1年で見ると、▲10.0、▲22.2、▲11.1、0.0と比較的狭い範囲の動きであり、大きな崩れは感じられない。令和6年4月～6月期見通しは11.1ポイント上昇の0.0であり悪い見通しにはなっていない。

売上高DIは▲11.1で前回調査と較べて33.3ポイント低下した。下げ幅が大きい上に、プラス領域からマイナス領域へ転じたので売上高が冷え込んできているかのように見える。しかし、4月～6月期見通しが55.6と大幅に上昇しており、見通しは明るいようである。

採算DIは▲55.6で前回調査に比べて11.1ポイント低下した。2四半期連続の低下であると同時に前回調査での1月～3月期見通しが▲11.1であったことに比べると、大きく見通しが狂ってしまっている。4月～6月期見通しは▲11.1であり業況や売上高の指標見通しと相まって、好転は期待できそうである。

資金繰りDIは12.5で前回調査より12.5ポイント上昇した。製造業の資金繰りの指標自体はあまり大きな変化を見せないのがであるが、今回の上昇でプラス領域に入ったことはよい傾向にあると見られる。4月～6月期見通しは0.0となっている。



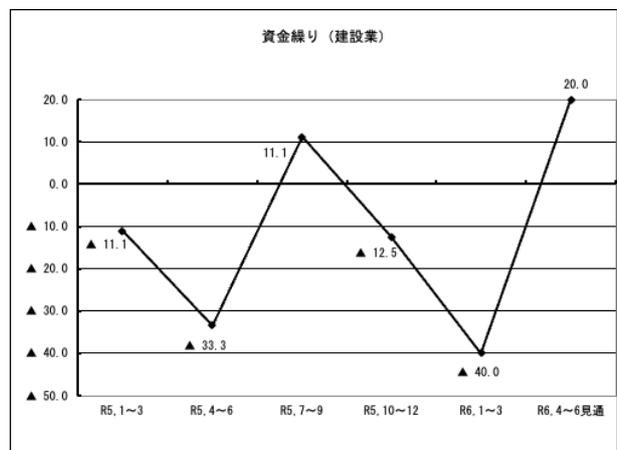
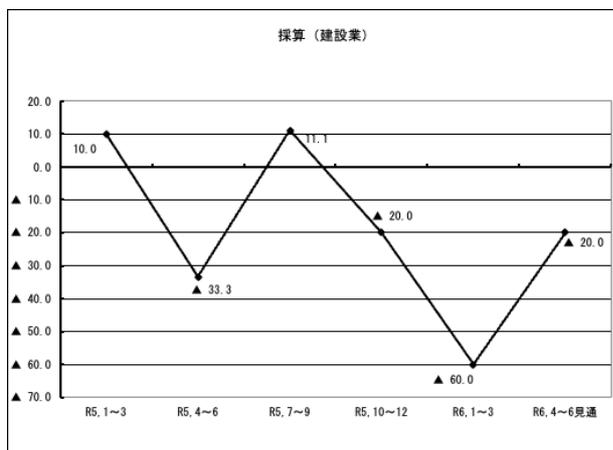
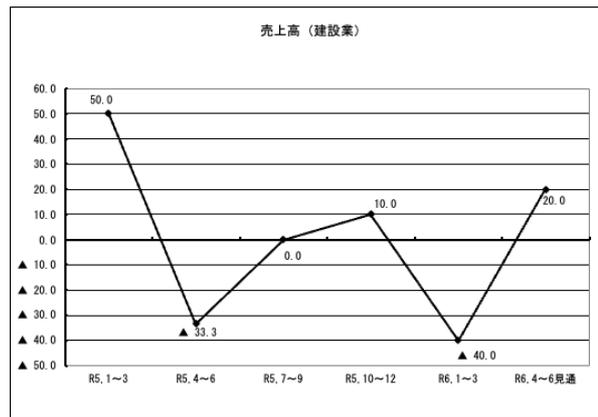
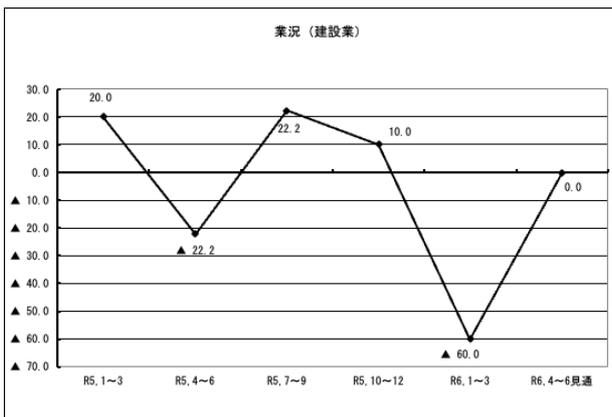
## 建設業

建設業の業況DIは▲60.0であり前回調査から70.0ポイント低下した。令和5年1月～3月期が20.0であったので1年で実に80.0ポイント低下したことになる。また、前回調査時点では1月～3月期見通しを0.0としていたが、実績は▲60.0と見通しが大幅に狂っていることも注意する必要があるようである。一方で4月～6月期見通しは0.0と今回調査が特異であるを見通している。

売上高DIは▲40.0で前回調査より50ポイント低下した。令和5年1月～3月期は50.0と非常に高い数値であったが1年後の今回調査では▲40.0となりその差は90.0ポイントととても大きな変動になった。4月～6月期は20.0と一気に巻き返しの見通しになっており、売上高も今回調査が特異である見通しになっている。

採算DIは▲60.0で前回調査より40.0ポイント低下した。採算も令和5年1月～3月期が10.0で今回調査が▲60.0と1年前と比較すると大幅な低下である。これもまた、4月～6月期見通しが20.0と急上昇をしており、一過性の動きであるを見通されている。

資金繰りDIは▲40.0で前回調査に比べて27.5ポイント低下した。資金繰りにおいても他の3指標と同じように今回調査時点が特異的に数値を下げているかのように見える。4月～6月期見通しは20.0なので他の指標と同じような動きである。



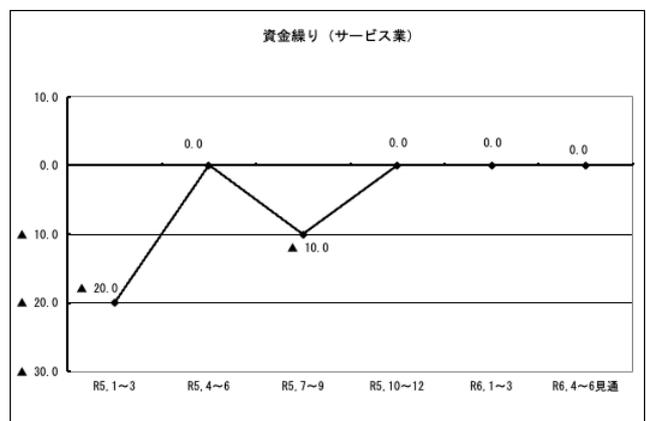
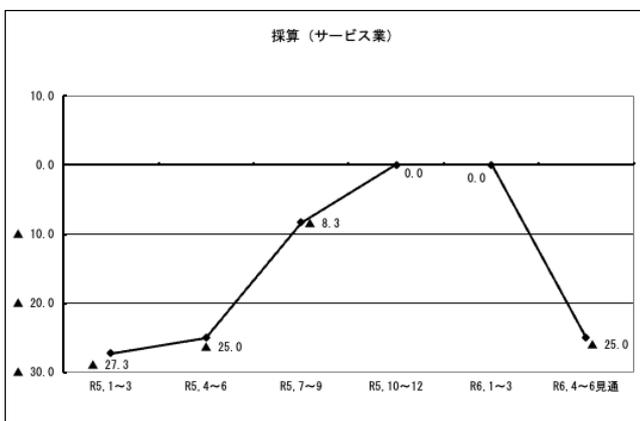
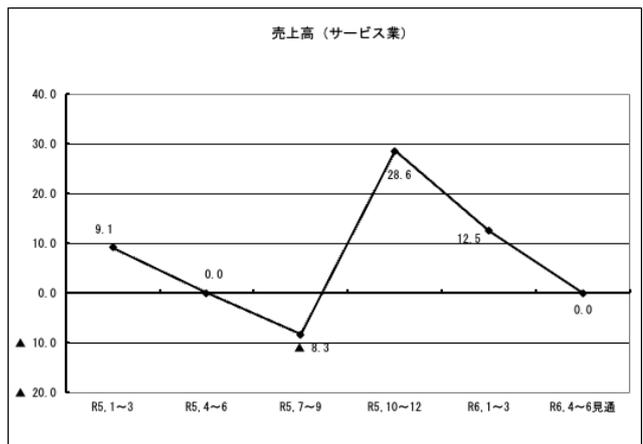
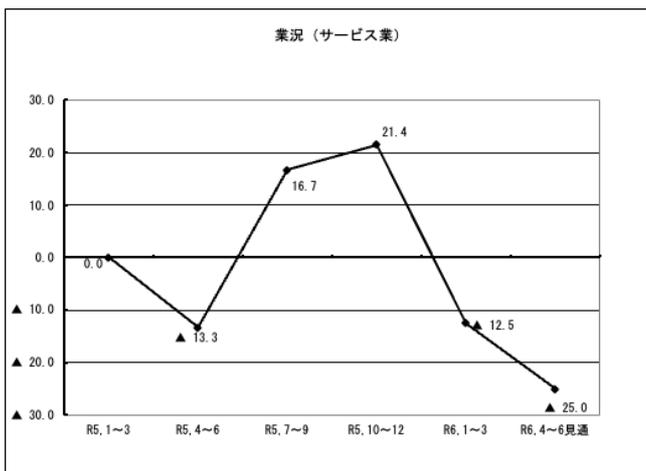
## サービス業

サービス業の業況DIは▲12.5で前回調査に比べて33.9ポイント低下した。過去2四半期上昇した分に近い値で低下したことになる。令和5年の後半6カ月が好調であっただけに、今回調査の落込みは大きく感じる。4月～6月期の見通しはさらに悪く▲25.0でサービス業の業況は見通しが暗そうである。

売上高DIは12.5で前回調査より16.1ポイント低下した。過去1年で見ると、令和5年7月～9月期が▲8.3であるがそれ以外はプラスの数値になっているので、売上高の動きは悪くないと思われる。4月～6月期見通しは0.0と今回調査よりも下げているので、傾向としては弱くなってきているかもしれない。

採算DIは0.0で前回調査と同じであった。令和5年1月～3月期が▲27.3なので、1年間で27.3ポイント上昇し、マイナスの数値から境界まで上昇したことになる。業況や売上高が数値を下げている中で採算は横ばいであった。4月～6月期見通しは▲25.0と大きく低下となっているので、注意する必要があるであろう。

資金繰りDIは0.0で前回調査と同じであった。上下を繰り返してきた資金繰りの数値が今回は横ばいであったので、安定度が増しているのかもしれない。4月～6月期見通しも0.0であるので、資金繰りの悪化などはなさそうな見通しである。



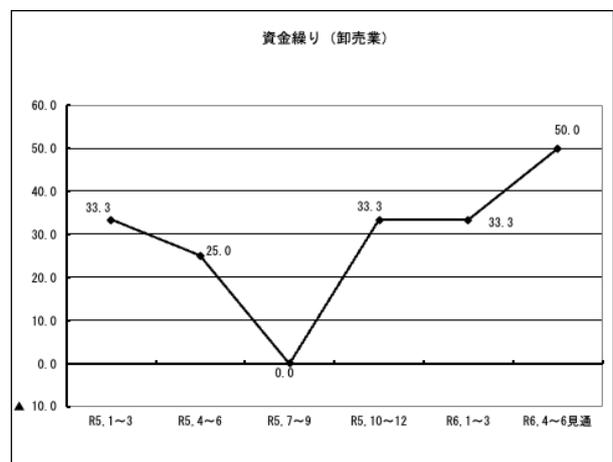
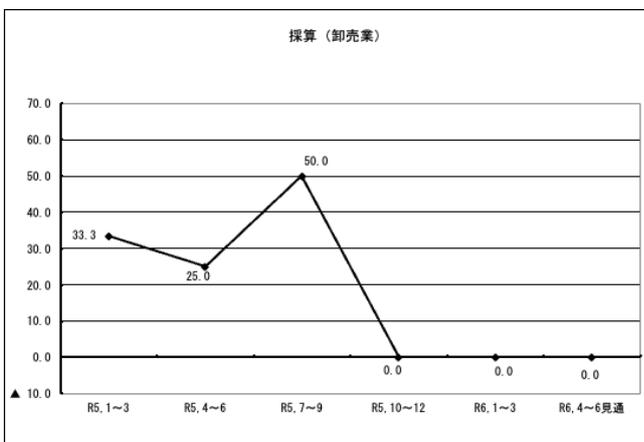
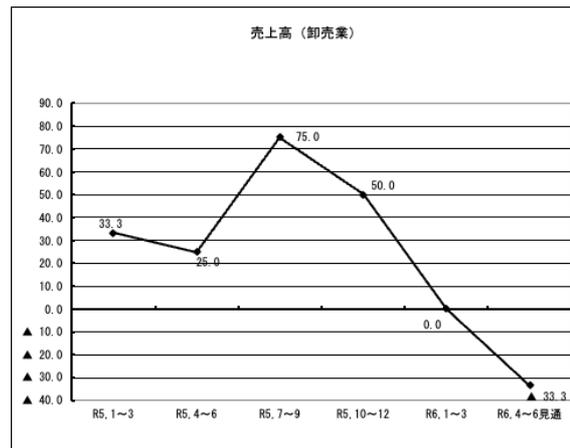
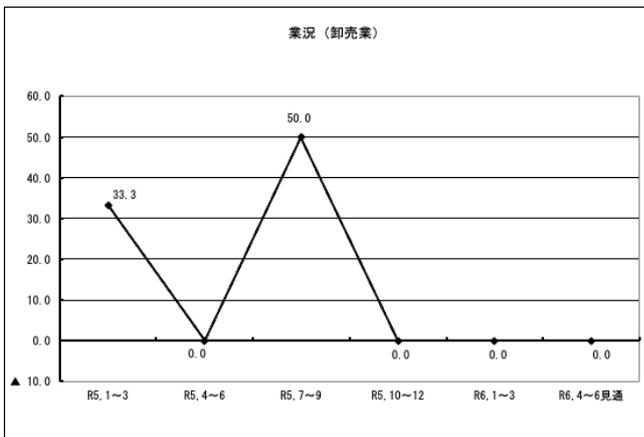
## 卸売業

卸売業の業況DIは0.0で前回調査と同じであった。2四半期連続の0.0である。令和5年中は33.3、0.0、50.0、0.0とマイナスになることなく数値が動いたのが、業況が悪くないと言え、今回調査でも0.0なのでその傾向が続いていると思われる。4月～6月期見通しも0.0なので、落ち着いた動きになりそうである。

売上高DIは0.0で前回調査より50.0ポイント低下した。令和5年中は常にプラス領域にあって、非常に好調であるかのように見えたが、令和6年になってから0.0となってしまった。4月～6月期見通しも▲33.3ともう一段下る見通しが出ており、好調期から転換しているのかもしれない。

採算DIは0.0で前回調査と同じであった。採算も令和5年中は高い数値を保っていたが、前回調査から0.0になり、4月～6月期見通しも0.0となっている。採算面でも好調から転換してきていると考えられそうである。

DI資金繰りDIは33.3で前回調査と同じであった。好調からの転換が予想される他の指標と違い、資金繰りは令和5年中と同様の水準の数値になっているので、資金繰りの悪化はなさそうである。4月～6月期見通しも50.0と資金繰りの不安は見えない。



## DI 指数一覧表

	昨年の同期との比較					
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全体	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 17.1	0.0	▲ 30.6	▲ 22.9
小売業	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 40.0
製造業	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	55.6	▲ 55.6	▲ 11.1
建設業	▲ 60.0	0.0	▲ 40.0	20.0	▲ 60.0	▲ 20.0
サービス業	▲ 12.5	▲ 25.0	12.5	0.0	0.0	▲ 25.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0

	該当期について				昨年の同期との比較	
	採算（経常利益）水準		取引の問い合わせ		従業員	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全体	11.1	11.8	▲ 41.2	▲ 34.4	8.8	6.1
小売業	▲ 18.2	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 50.0	0.0	0.0
製造業	11.1	11.1	▲ 33.3	▲ 22.2	22.2	22.2
建設業	60.0	75.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 37.5	0.0	12.5
卸売業	66.7	66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	66.7	33.3

	3 カ月前との比較					
	資金繰り		長期借入れ難易度		短期借入れ難易度	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全体	▲ 11.4	▲ 3.3	3.7	3.8	3.8	3.8
小売業	▲ 36.4	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
建設業	▲ 40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 過去からの動向

